

# 八戸市民保養所「洗心荘」に係る アンケート調査のお願い

市民の皆様へ

皆様には、日頃から市政に御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

八戸市民保養所「洗心荘」は、昭和 61 年に青森県十和田市焼山に市民の健康及び活力の維持増進、福祉の向上に資することを目的とした「保養・レクリエーション施設」として開設し、今年で 35 年が経過します。

長年、市民の皆様にご利用いただいている施設ではありますが、近年は、施設の設置意義の低下や施設老朽化による維持管理経費の増大、利用者数の減少など、今後の施設運営に大きな課題を抱えています。(各課題の詳細は裏面の参考資料をご覧ください)

そこで、市では、洗心荘の在り方や今後の市の保養事業の在り方について、中長期的な視点に立って検討することとし、施設利用者のほか、これまで利用したことがない方も含め、市民の洗心荘に対する考えやニーズ等を広く汲み取り、検討に当たった基礎資料とするため、アンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、御多忙のところ大変お手数をおかけしますが、調査の趣旨を御理解いただき、何卒、御協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年 9 月

八戸市長 熊谷 雄一

## 【調査票の記入にあたっての注意】

- 洗心荘の概要は、市ホームページ、同封しておりますパンフレットやチラシをご覧ください。 ※市ホームページ内で「洗心荘」を検索
- 洗心荘の主な課題は、裏面をご覧ください。
- 回答は、当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- 御記入いただいた内容は、上記の目的以外に使用することは一切ありません。
- 調査票は、三つ折りにして同封の返信用封筒に入れ、令和4年9月30日(金)までに投函してください。(切手は不要です)

## 【アンケートに関する問合せ先】

八戸市福祉部 福祉政策課 福祉政策グループ 担当:中嶋・千葉  
0178-43-9258(直通)

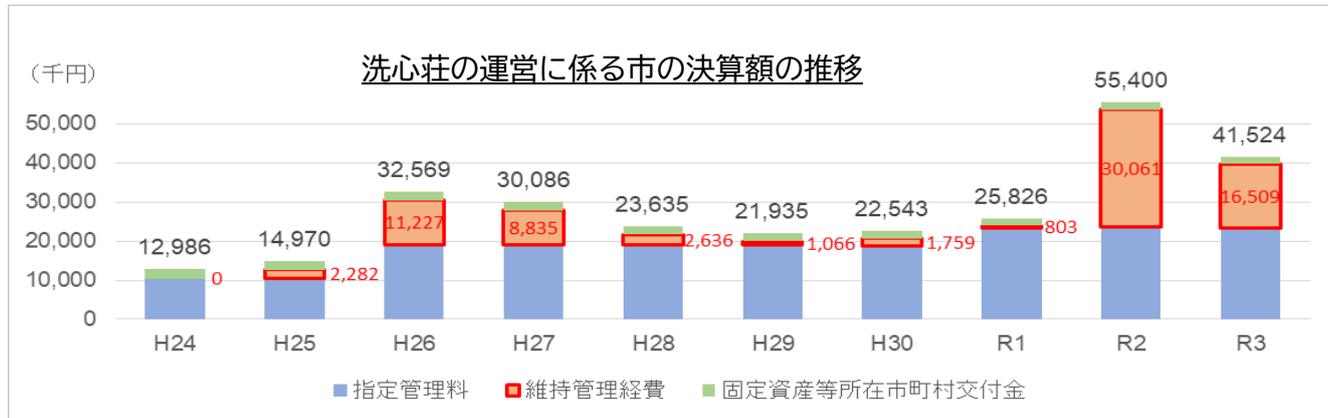
# 今回のアンケートにお答えいただくための参考資料

## — 施設が抱える主な3つの課題 —

### (1) 施設の設置意義の低下

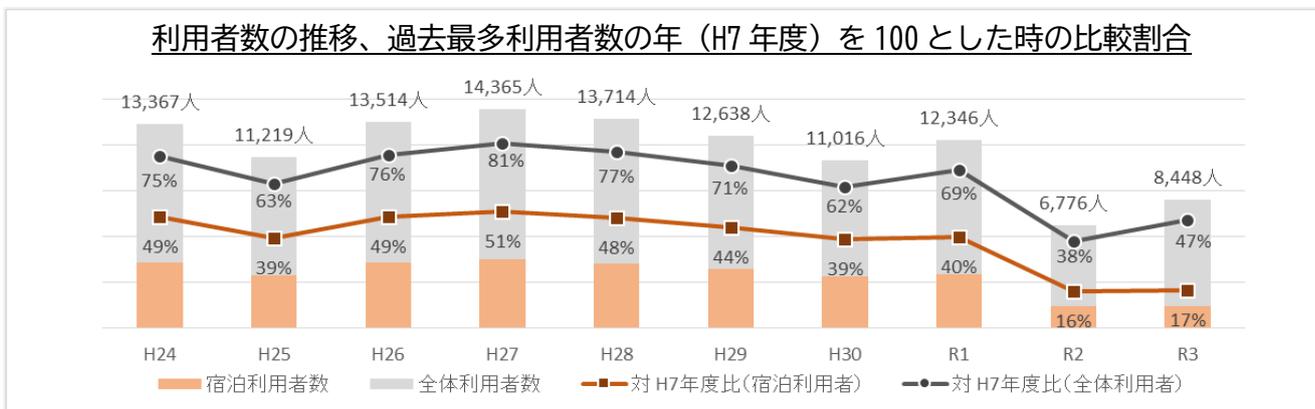
- 全市民に対する利用率はコロナ禍前で概ね5～6%、コロナ禍では3～4%と低迷。
- 近年は、多くの民間宿泊施設が創意工夫によって様々な独自のサービスを展開しており、インターネット等により詳細な情報を容易に得られることから、市民は自分のニーズに合った施設を自由に選択でき、市が公共施設として保養所を保有・運営する意義が低下。

### (2) 施設老朽化による維持管理経費の増大



- 洗心荘の老朽化に応じて、維持管理経費(修繕料・工事費など)の増大が顕著。
- 今後行う必要のある最低限の修繕や設備更新等の経費は、現状で、3,000万円程度という試算であり、今後大規模修繕等が発生する場合にはさらに費用が追加。

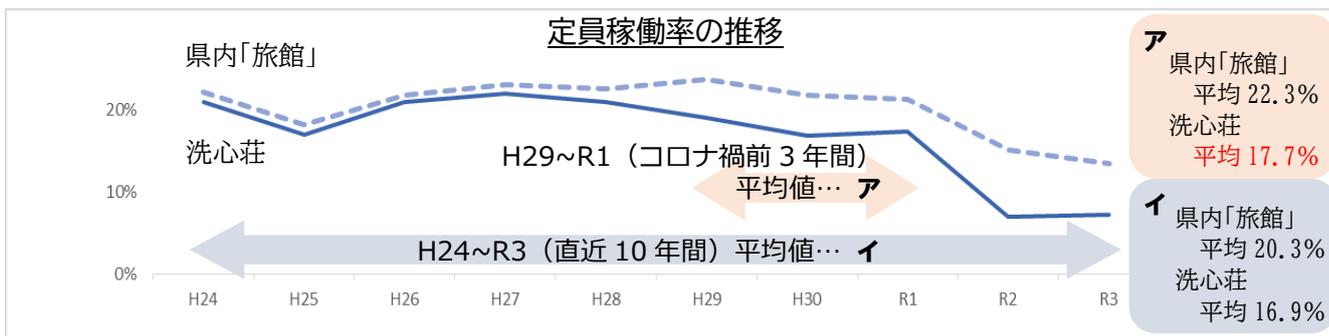
### (3) 利用者数の減少



- 利用者は年々減少傾向にあり、過去最多利用者数の平成7年度と比較すると、直近10年の中で最も利用者が多かった平成27年度であっても、全体利用者で80%程度(宿泊利用者で50%程度)。
- 令和2、3年度は、コロナ禍の中でさらに減少。

### 【定員稼働率\*の推移】

\*年宿泊者数/宿泊定員×年日数



- コロナ禍前3年間の定員稼働率は、平均で17.7%と、県内「旅館」と比較しても低い水準。

# 八戸市民保養所「洗心荘」に係るアンケート調査

➤ 各設問の番号に○(まる)をつけてください。

<b>設問1</b>	あなたの年代を教えてください。			
○は	① 10代以下	② 20代	③ 30代	④ 40代
ひとつ	⑤ 50代	⑥ 60代	⑦ 70代	⑧ 80代以上
<b>設問2</b>	八戸市民保養所「洗心荘」をご存じですか。			
○は	① 利用したことがある	⇒【設問3・4・5】へお進みください		
ひとつ	② 利用したことはないが、施設があるのは知っている (名前を聞いたことがある)	⇒【設問6】へお進みください		
	③ 施設があることを知らなかった	⇒【設問7・8・9】へお進みください		

設問2で「① 利用したことがある」とお答えいただいた方に伺います。

<b>設問3</b>	洗心荘の利用頻度を教えてください。			
○は	① 年2回以上	② 年1回程度		
ひとつ	③ 2～3年に1回程度	④ 過去に1～2回程度		
<b>設問4</b>	洗心荘を利用する理由で、最も当てはまるものを教えてください。			
○は	① 料金が安い(割引がある)	② 良質が良い(源泉かけ流し)		
ひとつ	③ 料理が良い	④ 市の施設なので安心できる		
	⑤ 奥入瀬溪流などの観光地に近い	⑥ 周囲が静かで落ち着く		
	⑦ 家族や友人等に誘われた			
<b>設問5</b>	洗心荘を今後も利用するにあたり、期待することを教えてください。			
○は	① 老朽化した施設の大幅なりニューアル	② 休止中のサウナ室の利用再開		
ひとつ	③ 若者や子育て世代向け宿泊プランの新設	④ 料金の値下げ		
	⑤ 料理を含む接客サービスの改善	⑥ 特にない		
	⑦ その他			

⇒【設問7・8・9】へお進みください

設問2で「② 利用したことはないが、施設があるのは知っている(名前を聞いたことがある)」とお答えいただいた方に伺います。

<b>設問6</b>	洗心荘を利用したことのない理由で最も当てはまるものを教えてください。			
○は	① どこに施設があるのかわからない	② どのような施設なのかわからない		
ひとつ	③ 利用方法(申込方法)がわからない	④ 施設の場所が遠く利用しにくい(交通が不便)		
	⑤ 施設が古い	⑥ サービス内容(料理やプラン)に魅力を感じない		
	⑦ バリアフリー化が進んでいないので利用できない(しにくい)			

⇒【設問7・8・9】へお進みください

<b>設問7</b>	洗心荘の利用料金について、最も当てはまると思うものを教えてください。			
○は	① とても安いと感じる	② まあまあ安いと感じる		
ひとつ	③ ちょうどよいと感じる	④ やや高いと感じる		
<b>設問8</b>	洗心荘があることで、市民の健康増進や福祉向上に効果があると思いますか。			
○は	① ほとんどの八戸市民に効果があると思う	② 一部の八戸市民に効果があると思う		
ひとつ	③ 効果があると思わない	④ わからない		

<b>設問9</b>	洗心荘の運営については、市民の健康増進・福祉向上のための施策として、利用者が支払う利用料金の他に公費が投じられていることを踏まえ、市が保養事業を行うことについてあなたの考えに最も近いものを教えてください。
○は ひとつ	① 利用者負担が増えても、公共施設としての保養所を継続・充実させる ⇒【設問10】へお進みください
	② 老朽化した施設や故障したままの設備があっても、修繕のための公費負担は最小限にし、利用者負担の増加もなるべく抑え、公共施設として保養所を存続させる ⇒【設問12】へお進みください
	③ 公共施設としての保養所は廃止し、代わりに民間の宿泊・入浴施設の利用助成などで保養事業を実施する ⇒【設問12】へお進みください
	④ 公費を投じて市が入浴や宿泊にかかる保養所や保養事業を実施する必要はない ⇒【設問11】へお進みください

設問9で「① 利用者負担が増えても公共施設としての保養所を継続・充実させる」とお答えいただいた方に伺います。

<b>設問10</b>	仮に1泊あたりの宿泊利用料金を値上げする場合、あなたの考えに最も近いものを教えてください。
○は ひとつ	① +3,000円程度なら値上げしてもよい(目的:今後予測される修繕費用に充当) ② +6,000円程度なら値上げしてもよい(目的:修繕費用+施設充実費等に充当) ③ +10,000円程度なら値上げしてもよい(目的:利用者負担100%で運営)

⇒【設問12】へお進みください

設問9で「④ 公費を投じて市が入浴や宿泊にかかる保養所や保養事業を実施する必要はない」とお答えいただいた方に伺います。

<b>設問11</b>	市が保養所や保養事業を実施する必要はないと考える理由について、あなたの考えに最も近いものを教えてください。
○は ひとつ	① 公費を使ってまでやる事業ではない ② 政策的な優先順位が低い(教育・福祉・経済など他に優先すべき事業がある) ③ 費用対効果が低いと思う(老朽化による修繕費の増大、利用者数の減少など) ④ 民業圧迫や一部の民間事業者の優遇になりかねない

⇒【設問12】へお進みください

<b>設問12</b>	洗心荘の今後の在り方について、あなたの考えに最も近いものを教えてください。
○は ひとつ	① 【施設充実】 公費を投じてでも、改修・建替え等により大幅にニューアルし、利用促進を図る
	② 【施設維持】 受益者負担の考え方を取り入れた利用料金の見直しや最小限の修繕などにより、今後も施設を維持する
	③ 【有効活用】 民間事業者に施設を貸付または売却し、施設の有効性を図る
	④ 【施設廃止】 施設を廃止し、土地・建物を売却する

アンケート調査は以上です。ご協力いただきありがとうございました。